車	業	رہ	ا—۱	١,		和	6年	度	汝:	實)	
7	ᅏ	_		7.1	. 13	11 11	-	ız	~·	开 !	

			会計	1	一般会計		重点戦略	方向性		担物社商	過疎地域持続的発展計画			
事業名 20900 総合計画推進事業費		300 総合計画推進事業費 予		予	款	2	総務費	総合計画	里从栽哈	ポイント		依拠計画	测除地域行机的光度引出	
		算	項	1	総務管理費	今日日回	分野別	政策分野	着実な計画の推進	市長公約	心地よく~暮らす人も訪れる人も心地よいまち~			
担当課	総合政策部総合政策課、市民活動部協働推進課 内線 2434		目	9	企画費		/J ± ľ / / i	施策分野	計画推進	いななない	いつまでも住み続けることができる環境を整備します 等			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的

考え方

(担当課)

- 総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。
 - ・近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。
 - ・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。 地方創生を推進する。

・市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。

- ・政策コーディネーターの設置やたかやま共創ミーティングの開催により、市政全般における政策立案、形成をすすめる。 若者や女性活躍に向けた活動支援や事業調整を行う。
- ・高山市SDGs未来都市計画に基づきSDGの推進を図る。
 - ・県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。
 - ・ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じ ている市民の割合	51.4%	54.7%	1
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	85件	86件	100件
事業評価の実施	380事業	385事業	-

2.事業	の実施結果等(Do)						(千円)	. _	<u>4.令和7年度予</u>	<u>算編成(Action)</u>	<u> </u>	(千円)
		R5		R6					R7-	9.	実施計画額	15,927
	歳出事業費 (職員人件費を除く)	最終予算	決算 (a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	i	要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
	(戦長八円兵と标い)	34,429	31,895	28,265	27,857	24,562	△ 7,333		15,927	15,927	15,927	△ 12,338
	国費 (i				
特定財源	県費 (SDGs推進事業費 1/2)	2,200	1,357	1,600	1,600	962	△ 395	-	1,600	1,600	1,600	0
	その他(飛驒高山ふるさと基金繰入金)	9,000	9,000	2,000	2,000	2,000	△ 7,000					△ 2,000
一般	材源	23,229	21,538	24,665	24,257	21,600	62		14,327	14,327	14,327	△ 10,338
新規·拡充	主な事業内容								査定額		説明	
O 1	総合計画の進捗管理(第九次総合計画の策定)	10,561	10,387	4,242	3,887	2,841	△ 7,546	1	494			
	SDGsの推進	4,405	2,907	3,200	3,200	1,997	△ 910		3,200			
	政策コーディネーターの設置	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	0		3,600			
O 2	地域力創造アドバイザーの設置			6,100	6,100	5,809	5,809					
	たかやま共創ミーティングの開催	200	118	200	200	126	8	-				
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会への参画	7,900	7,618	7,900	7,900	7,541	△ 77		7,900			
O 3	若者の主体的な活動に対する助成	2,000	2,052	2,200	2,200	1,956	△ 96					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

・総合計画審議会の開催(1回)、第九次総合計画の策定に向けた調査分析等の実施、市民・団体アン ケートの実施、市民意見交換会の開催(50回)、事業評価・施策評価の実施、実施計画のローリング ・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に25,022人が参加・来場 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学 習資料を作成・配付 事業実績 ・総合教育会議の開催(2回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回) ・飛騨高山SDGsウィークの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施 政策コーディネーターの設置 たかやま共創ミーティングの開催(6テーマ) ・若者活動支援事業補助金の創設、11団体を支援 ・市内の城跡を調査し、まちづくりへの活用に向けた可能性を調査 ・第九次総合計画の策定に向けて、委託事業者の見識を活かした調査分析、様々な手法による意見聴 取、評価検証等を実施し、策定のための資料を整えた。 評価等 ・たかやま共創ミーティングや政策コーディネーターの設置など、政策形成に向けた新たな手法を導入する。 ることにより、市民提案の政策への反映、北海道東川町や一般財団法人ひだ財団との連携協定の締結 などにつなげることができた。 □ 維持·改善 ☑ 拡大 次年度 ・調査分析、市民意見聴取等の結果を踏まえ、第九次総合計画の策定をすすめ □ 縮小 以降の

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

・総合計画審議会の開催(諮問・答申含む)(3回)、第九次総合計画(基本計画・実施計画)の策定、市 民・団体アンケートの実施、市民意見交換会の開催(対面5回、動画視聴800回)、事業評価の実施 ・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に38,080人が参加・来場

・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学 習資料を作成・配付

・総合教育会議の開催(1回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回) 事業実績

・飛騨高山SDGsアクションデイズの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実

・政策コーディネーターの設置

次年

以降 考え

(担当課)

□ 廃止検討

□ R6完了予定

□ R5完了

- ・たかやま共創ミーティングの開催(5テーマ)
- 若者活動支援事業への助成、11団体を支援
- 地域力創造アドバイザーの活用

第九次総合計画について、市議会特別委員会との段階的な協議を行うとともに、場所や時間を選ばず 意見を出せるよう動画やオンラインの活用による市民説明会、総合計画審議会の諮問・答申を経て、策 定した。

評価等 ・たかやま共創ミーティングや政策コーディネーターの設置、地域力創造アドバイザーの活用など、政策 形成に向けた手法を活用することにより、市民提案の政策への反映、幅広い知見を有する方からの助 言等による取組みへの反映などにつなげることができた。

度	・第九次総合計画に掲げる施策、実施計画の進捗を図る。
の	・引き続き、一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。
方	ర ం

✓ 維持・改善 □ 拡大

縮小 □ 廃止検討 □ R6完了 □ R7完了予定 ※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課・たかやま共創ミーティングの開催手法の見直し 予算要求 ・地域力創造アドバイザーの終了

ポイント ・若者の主体的な活動に対する助成を20960若者活動支援事業費へ移行

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業名	20900 総合計画推進事業費		□ R6新規	□ R7新規		会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
サネセ		区分	✓ R6拡充	□ R7拡充	予算	款	2	総務費	造山林	心口以来的 心口以来体
枝番·内容	1 総合計画の推進	区刀	□ その他重要事業), 21.	項	1	総務管理費	内線	2434
校留 内谷	「「「「「「「」」」が、「」「「」」では、「「」」では、「」「「」」では、「」「」では、「」「」では、「」では、					B	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

<u> </u>	H3 1965 (1 1411)		
目的	・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。	概要	・各分野の代表者で構成する審議会の開催により、総合計画の策定に関する必要事項について調査・審議する。 ・令和7年度からの新たな第九次総合計画を策定する。

	[参考] R5	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
		当初			10,634
予算額	繰越				
	補正等			△ 73	

最終 10,561 決算額 10,387 10,070 対前年度増減額(決算)

[参考] R6:	当初予算(A	(ction	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			4,242
主な経費	・委員報酬 ・調査分析業務・ ・市民アンケート ・団体アンケート			

事業実績、評価等

[事業実績]・総合計画審議会の開催(1回)

高山市の将来人口の変化が・市民アンケート・団体アンケート・総合計画策定(評価等)・第九次総合計	の委託 画の評価(外部評価) 人口の推計・分析 地域の将来に与える影響の分析 の実施])	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・調査分析、市民意見聴取等の 結果を踏まえ、第九次総合計画 の策定をすすめる。		維持·改善拡大縮小 廃止検討 R5完了

□ R6完了予定

・団体アンケート
対前年度増減額(当初予算) △ 6,392
※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容、スケジュール
[事業内容]
第九次総合計画策定に向けた準備
・総合計画審議会の開催
・調査分析業務の委託
第八次総合計画の評価(外部評価) 高山市の将来人口の推計・分析
人口の変化が地域の将来に与える影響の分析 ほか
・市民アンケートの実施
・団体アンケートの実施
[スケジュール]
R6.6月~R7.3月 調査分析の実施
適宜 総合計画審議会の開催、市民・団体アンケートの実施

R6決算(Do Check)		R7.8時点	(千円)
	当初		4,242
予算額	繰越		
了 昇稅	補正等		△ 355
	最終		3,887
決算額			2,841
対前年度増	減額(決算)		△ 7,546

事業実績、評価等 [事業実績] ・総合計画審議会の開催(諮問・答申を含む)(3回) 市民アンケートの実施 ・総合計画策定に向けた市民説明会の開催(対面5回、動画視聴800回) ・計画書デザインの委託、印刷 ・第九次総合計画を策定するとともに、市民にわかりやすく理解いただくた めに、専門事業者によるデザインを取り入れた概要版の作成、計画書本 編の印刷、周知動画の制作等、新たな試みを取り入れた。

	第九次総合計画の着実な進捗	\square	維持·改善
	を図る。		拡大
欠年度以降			縮小
の考え方 (担当課)			廃止検討
			R6完了

R7当初予算(Action) (千円) 494 予算額 当初 •委員報酬 主な経費 市民アンケート

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
第九次総合計画の進捗・管理	
・総合計画審議会の開催	
・市民アンケートの実施	
[スケジュール]	
R7.6月 市民アンケートの実施	
R7.10月 総合計画審議会の開催	
いいり 心口可凹音成本の財産	

04_総合政策課.xlsx_2 20900-1

□ R7完了予定

事業名	20900 総合計画推進事業費		✓ R6新規	□ R7新規		会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
尹未石	20900 松白们凹推延尹未兵	区分	□ R6拡充	□ R7拡充	予質	款	2	総務費	担当床	心口以来即 心口以来床
枝番·内容	2 地域力創造アドバイザーの活用	四月	□ その他重要事業	É	了开	項	1	総務管理費	内線	2434
校备•内谷 2 地域	2 地域の別型というリンプの自用					目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

7701	3 1905 (1 1011)		
目的	・総務省の地域人材ネットを活用し、外部専門家(地域力創造アドバイザー)による助言・指導を受け、地域独自の魅力や価値の向上に取り組み、地域力を高める。	概要	・地域力創造アドバイザーの招へい、活用

[参考] R5	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
了昇蝕	補正等			
	最終			

予算額	11/A/CZ	
了并领	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

	事業	実績、評価等	
[事業実績]			
[≣##]##1			
[評価等]			
			維持·改善
次年度以降 の考え方			
次年度以降 の考え方 (担当課)			縮小 廃止検討 R5完了

[参考] R6:	当初予算(A	ction)R6.3時点	(千円)
予算額	当初		6,100
主な経費	・地域力創造アト	ぶパイザー委託ほか	
対前年度増減	額(当初予算)		6,100

	1	
対前年度増減	額(当初予算)	6,10
《入札に影響す	るため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合あり
	事業内容	容、スケジュール

事業内	容]		

・地域力創造アドバイザーの活用 岐阜県をはじめ豊富な自治体マネジメント経験を持ち、国や関係団体との 連携が期待できる、総務省地域カ創造アドバイザーである平木氏を招へ

≪平木 省(ひらき しょう)氏 プロフィール≫ 青山社中株式会社取締役COO

いし、地域振興をはじめ幅広く助言、支援を受ける。

前岐阜県副知事、元総務省自治財政局財務調査課長

≪地域力創造アドバイザー≫

地域独自の魅力や価値の向上に取り組むことで、地域力を高めようとする 市町村が、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門 家を招へいし、指導・助言を受けながら取組を行う場合の外部専門家に関 する情報提供及び招へいに必要な経費について総務省が支援する制度

しスク	ジュ	_	J	/]	

□ R6完了予定

·R6.4~ 地域力創造アドバイザーによる調査、助言・指導

o•Check)	R7.8時点	(千円)
当初		6,100
繰越		
補正等		
最終		6,100
額		5,809
減額(決算)		5,809
	当初 繰越 補正等 最終	繰越 補正等 最終

事業実績、	評価	等
-------	----	---

[事業実績]

・地域力創造アドバイザーの招へい、活用

7回11日間、市内において活動

地域振興施策の検討対象の地域として南高山地域への訪問・ヒアリング のほか、各分野(流通、医療、大学連携、木工・森林、観光・コンベンション 、交通・鉄道、商工会議所)の有識者からのヒアリング、市内若手経営者 等との意見交換、市長、副市長、教育長はじめ市幹部職員等との意見交 . 換等を実施

・南高山地域における地域振興策、個別分野における各施策の提案など を豊富な経験から具体的な知見を盛り込んだ報告があった。

・地域や各分野におけるステー

クホルダーによる取組みの促進

を図る。

次年度以降

の考え方

(担当課)

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減	額(当初予算)	

	事業内容、スケジュール
[事業内容]	
[スケジュール]	

04_総合政策課.xlsx_3 20900-2

■ 維持・改善

□ 拡大

□ 縮小

□ 廃止検討

□ R7完了予定

✓ R6完了

事業名	20900	総合計画推進事業費		□ R6新規	□ R7新規		会計	1	一般会計	担当課	市民活動部 協働推進課
			区分	✓ R6拡充□ その他重要事業	□ R7拡充 *	予算	打百	1	総務管理費	内線	2392
枝番·内容	3	若者の自主的な活動に対する助成(ひだ財団との連携)				-	目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・若者が地域でやりがいと生きがいをもって活躍できるまちづくりをすすめる。	概要	・地域の課題解決などを目的とした若者の自主的な活動に対する助成を行う。

[参考] R5	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			2,000
予算額	繰越			
	補正等			
	最終			2,000
決算額				2,052
社会在在描述的(法符)				2.052

[参考] R6:	当初予算(A	ction)	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			2,200
主な経費	•補助金			
対前年度増減	額(当初予算)			200
※入札に影響す	るため公開に適	さないなど	記載省略(※)する場	晶合あり

※入札に影響するため公開に適	iさないなど、	. 記載省略(※)する場合:	あり

决 身	早預		2,052			
対前年度増	減額(決算)		2,052	対前年度増減額	額(当初予算)	20
				※入札に影響する	るため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合あり
	事業実	沒績、評価等			事業内	容、スケジュール
事業実績]				[事業内容]		
i者の自主的な	活動に対する助成	71件(団体)			申請時点で35歳	カ成 未満の若者で構成される団体 「円(補助率10/10)
評価等] 助成制度の創詞 いた。	設により、若者によ	るイベントや活	動が市内各地で展開さ	法人ひだ財団と選	立された岐阜県 連携により事業を 窓口の運営、補	内初のコミュニティ財団である一般財団 E実施。 助金の支給、報告会の開催
助成団体間での シュタグによる連 ができた。 補助金といった	護携したPR、団体間	での困りごとのほか、相談支援・	吸告会等を開催し、ハッ 解決などの場をつくるこ や活動の持続化に向け			
				[スケジュール] ・R6.4~ 事業実)	施	
	・一般財団法人ひ		□ 維持·改善			
	行政以外のセクタ よる複層的な支援		☑ 拡大			
次年度以降 の考え方			□ 縮小			
(担当課)			□ 廃止検討			
			□ R5完了			
			□ R6完了予定			

R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
	当初		2,200
予算額	繰越		
7 昇 領	補正等		
	最終		2,200
決算額			1,956
対前年度増減額(決算)			△ 96

事業実績、評価等 「事業実績」 若者の自主的な活動に対する助成 11件(団体) 「評価等] ・若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。・一般財団法人ひだ財団との連携により事業を実施することで、活動に寄り添った伴走型の支援が実施できた。 「次年度以降の考え方(日半)等) ・地元高校生の活動が活発になっており、新たな支援を検討する。 「次年度以降の考え方(日半)等) ・地元高校生の活動が活発になっており、新たな支援を検討する。 ・本語の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	対前年度増	減額(決算)			△ 96
[評価等] ・・若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。 ・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。 ・一般財団法人ひだ財団との連携により事業を実施することで、活動に寄り添った伴走型の支援が実施できた。 ・地元高校生の活動が活発になっており、新たな支援を検討する。 次年度以降の考え方					
著者の自主的な活動に対する助成 11件(団体) 「評価等] ・若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。 ・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。 ・般財団法人ひだ財団との連携により事業を実施することで、活動に寄り添った伴走型の支援が実施できた。 ***********************************		事業	実績、評価等		
・若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。 ・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。 ・一般財団法人ひだ財団との連携により事業を実施することで、活動に寄り添った伴走型の支援が実施できた。 ・地元高校生の活動が活発になっており、新たな支援を検討する。 次年度以降の考え方		は活動に対する助	成 11件(団体)		
っており、新たな支援を検討する	・若者によるイベ ・助成団体間で シュタグによる返 とができた。 ・一般財団法人	の情報交換や課題 連携したPR、団体 ひだ財団との連携	題共有に向けた報 間での困りごとの 場により事業を実力	股告会等)解決なる	どの場をつくるこ
っており、新たな支援を検討する 次年度以降 の考え方					
				Ø	拡大

R7当初予	算(Action)	(千円)
予算額	当初	2,200
主な経費	•補助金	
対前年度増減	額(当初予算)	0

対前年度増減 ※入札に影響す			
	事業内容	容、スケジュール	
[事業内容]	チボバ	B(X/)24 //	
·対象団体:補助 ·補助額:1事業		未満の若者で構成され 「円(補助率10/10)	る団体
	動推進課へ所管		
[スケジュール] ・R7.4~ 事業実	施		

04_総合政策課.xlsx_4 20900-3

事業シ	・一ト(令和6年度決算)						04_総合政策	東課.xlsx_5									
事業名	20930 大学連携推進事業費	会計	1 一般会計 2 総務費 1 総務管理			総合計画	重点戦略		(2) 夢や希 2 こども	・教育・交流	、若者が活躍できる環境づくり	- 根拠計画 - 市長公約	過疎地域持続	売的発展計画			
担当課	総合政策部 総合政策課 内線 2434	目	9 企画費					施策分野	(4) 生涯与	学習・文化芸術							
Ⅰ.事業(目的	の目的・概要(Plan) ・大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUIJターンや地元定・大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成。 ・大学連携による地域産業の活性化やブランドカの強化を図る。		概要・大・連	学連携· 携大学	センターの設置・運営! センターへの調査研究 等との検討会議の閉催 等が活用できるサテラ	業務の委託 [軍営					総合計	画等主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
2.事業((千円)	4.令和	7年度予算	车編成(Action)	'		(千円
	the standard after the			R	5				R	6	1		R7予:	算	実施計画額		19,770
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	[決算 (a)	当初予	予算 (c)	最終	予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要		財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
			17	7,110	15,982	!	17,690		19,190	18,172	2,190		19,770	19,770	19,770		2,080
	国費()															
持定財源	県費()									1						
	その他()															
一般則			17	7,110	15,982		17,690		19,190	18,172	2,190		19,770	19,770	19,770		2,080
新規·拡充	主な事業内容											査	定額		説明		
	大学連携の推進(大学連携センターに対する助成)		12	2,000	10,950		13,600		15,100	14,207	3,257		15,700				
	大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置		4	1,990	4,932		4,020		4,020	3,931	Δ 1,001		4,000				
											¦						
											¦						
											¦						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場	合があります。	L						!			※入札に影	響するため公開に	こ適さないなど、記載省略()	※)する場合があります。		
	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		\	1	5.令和6年度事	業実績	、評価等	手(Checl	c) R7.8	実施							
事業実績	・大学活動を誘致する大学コミッション事業により38大学、大学教授やによる講義・報告会に123人が参加 ・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対人治分を助成) ・持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門・タンク事業を推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する支援を行った	-(37大学 1,634 いた自治体シンク		・大学活動 による による ・市内にお うを助成の ・持続可能 タンク弾 ・飛頭~ と ・飛頭~ な ・飛頭~ な ・飛頭~ と ・飛頭~ と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を誘致する。を 報告会に1 ける大学活動 が観光まちな を推進 を フィールド る ちゃく こうしゅう こうしゅう いっこう はいしょう はいまま はいしょう はいしょく はん はい はいしょく はい	大学コミッシ 137人が参加 動を促進する づくりに向け に調査研究 ス〜映像視聴	コン事業により のるため、大学 けた取組みない でで行う大学院 山学会」を開き	り49大学、 等によるゼ: ど、大学の高 関係者や地: 唯 0人	大学教授や学生を5.384 会合宿に対する支援を行 所度で専門的な知見を活 元高校生が集い、研究が 研究開発に要する費用を	テった(63件3,397人泊 活用した自治体シンク 成果等を発表する「第	担当課予算要求ポイント					
	・大学連携センターによる大学活動への支援により学生を、高山へ呼 民とを繋ぐことができた。 ・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向け ・飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、 企業など参加者相互の交流・連携が図られた。	た取組みを進め	ることができた。		民とを繋ぐ ・大学と連・ ・飛騨高山	ことができた 携した調査の 学会の開催	こ。 研究により、: により、研究	地域の魅力	句上や課題:	高山へ呼び込むととも 解決に向けた取組みを るとともに、大学の教員	単めることができた。 単めることができた。	財務部 査定の 考え方	・要求どおり				
以降の 考え方	・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研究、市の施策形用を進める。 ・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動に誘致を図る。	成への活 の積極的な 口	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R3完了		以降の 用を進める	。 。 大学連携セ				市の施策形成への活 大学活動の積極的な	☑ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R6完了	市長査定の考え方	・財務部査定	のとおり			

事業シ	・一ト(令和6年度決算)					04_96	опыж	BX.XI3A_U								
	***	会計	1 一般会計			- 赤上	点戦略 -	方向性 1 こどもが健	やかに育つための支援	、若者が活躍できる環境づくり	+8 +m +1 in	過疎地域持続	ᄊᇮᇛᇗᇑ			
事業名	若者活動支援事業費 20960 (旧:若者等活動事務所管理事業費)	予款	2 総務費			総合計画	大半以中台	ポイント (2) 夢や希望	!が持てる環境づくり		10000000000000000000000000000000000000	迴咪吧場行称	的光族計画			
	(14.14.4.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.	算 項	1 総務管理費				野別	政策分野 2 こども・教	でで流		市長公約	強く!~自然と	と向き合い暮らす強さ	~		
担当課	総合政策部 総合政策課 内線 2434	目	9 企画費			713	±rnii į	施策分野 (4) 生涯学習	· 文化芸術		17.及五小:	若者の自主的	的、主体的な取り組み	を支援します		
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合計画	回等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
																1
目的	・次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、すりと愛着を育む。	飛騨高山への誇			舌動事務所)の管理											
1 H J	・伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並 <i>み</i>	タを維持する。	·若者	の自主的	な活動に対する助	成を行う。										
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.令和	7年度予算	編成(Action)			(千円
	华山市张建			R5				R6				R7予算		実施計画額		8,550
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算		決算 (a)	当初予算(c		最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減・	(d)-(c)
			6,	795	5,329	5	5,250	5,196	4,217	△ 1,112		8,750	7,450	8,550		3,300
	国費 ()								l i						
特定財源	県費()								1						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛驒高山ふるさと基金繰入金)	3,	100	3,100	4	1,000	4,000	4,000	900				4,000		0
一般則	才源		3,6	695	2,229	1	1,250	1,196	217	△ 2,012		8,750	7,450	4,550		3,300
新規·拡充	主な事業内容										査	定額		説明		
	施設の管理運営		6,7	795	5,329	5	5,250	5,196	4,217	Δ 1,112		5,250				
	若者の主体的な活動に対する助成											2,200				
	高校生の主体的な活動に対する助成											1,100				
										-						
				+												
				+			\rightarrow									
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります。								<u> </u>	※入札に影	響するため公開に	適さないなど、記載省略()	※)する場合があります。		
3.令和5	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		\downarrow	5.	令和6年度事	業実績、評	価等	(Check) R7.8実	施	. ↓						
事業実績	・来所者数 27.955人(1日平均90人)、関所からの延べ81,848人 ・利活用検討会の開催(5回)				**中4**********************************		☑均88人)	、開所からの延べ109.04			予算要求	・若者の主体的		5名称変更 を20900総合計画推進 力成の拡充に必要な経		移行し、高
	・市内高校生や中学生の自主学習での利用のほか、若者が自発的に	活動している各種	重プロジェクトの打	i	•市内高校	生や中学生の自己	主学習で	での利用のほか、若者が自	自発的に活動してい	る各種プロジェクトの打						
評価等	合せなど様々な目的で利用されている。 ・県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても・地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、ただくなど、良好な関係を築くことができている。	活用が図られて	いる。	計	合せなど村 ・県内外か ・地域の方	様々な目的で利用で らの視察や教育が	されてい 旅行の受 用をはじ	る。 入れなど、市のPRの場所 め、施設内の植栽等への	所としても活用が図 <i>ら</i>	られている。	財務部 査定の 考え方	・積算内容を制 ・高校生の主体		成は、他の補助金制	度で対応する	るよう査定
			維持·改善							☑ 維持·改善						
次年度			拡大		7年度					□拡大						
以降の 考え方	・更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。	I .	縮小	L)	一路の	用促進を図りなが	ら、引き	続き適切な管理運営を行	う。	縮小	市長査定	・積算内容を料	着 されな活動に対する]成に必要な経費を計_	L	
考え方(担当課)		1 —	廃止検討 R2完了		当課)					□ 廃止検討 □ R6完了 ¦	の考え方	・高校生の主体	№的な活動に対する助	」以に必要な経賞を計。	<u> </u>	
		-	R2元了 R3完了予定							□ R6元 ʃ □ R7完了予定						

事業シー	-1-	(令和	6年	度	決質)	١
チホノ		(IJ Till	$\overline{}$	Æ.	八手	,

争 耒ン	/一ト(令和6年度決算 <i>)</i>									-										
			会計	1 一般会	計				重点戦略	方向性	3 人	づくりを支える環境	整備		相如計画		画、教育振興基本計画	회 地域短处計画		•
事業名	20980 高山駅西地区まちづくり推進事業費	予	款	2 総務費				総合計画	里从牧昭	ポイント		分らしく、充実して着		環境づくり	1尺7处61四	御川本本司	四、秋月派央基本司即	四、地域無性計画		
Inm	40.4 - 41.4 - 40.4 - 41.4 - 40.4	算	項	1 総務管				***************************************	分野別			市基盤・防災・景観	1		市長公約		事らす人も訪れる人も			
担当課	総合政策部総合政策課 内線 2443		目	9 企画費						施策分野	· (1) ±	地利用·都市計画				X1L*A/\	一ク・芸術などやりかり	いの実現を支援します		
1.事業	の目的・概要(Plan)															総合計	十画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
	 ・「ふれあい×にぎわい×つながり ~市民の夢や願いをかなえ、笑	領レ小?	たけざませ																	
目的	る駅西エリア〜」をコンセプトとして高山駅西地区のまちづくりをすする			概要・	高山駅西	5地区におけ	る複合・多根	機能施設等の	の整備をする	rめる。										
	につなげる。																			
2 車業	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													(7.5)	4 全和	7年度多	算編成(Action	<u>, , </u>	l	(千円)
4. 于木	<u>グス心和末守(DO)</u>					R5						R6		(千円)	7. TJ 4H	7 十 反 7 7		実施計画額		12,500
	歳出事業費			最終予			算 (a)	当初予	予算 (c)	最終	冬予算	決算 (b))	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)				16,400)	11,014		25,020		25,02	20 2	3,959	12,945		181,500	12,500	12,500		12,520
	国費 (高山駅西地区まちづくり推進事業費 1/3、1/2)				5,390							△ 5,390		34,000				
特定財源)																	
)						12,000		12,00	00 1:	2,000	12,000				6,000		Δ 6,000
—般	 対源				16,400)	5,624		13,020		13,02	20 1	1,959	6,335		147,500	12,500	6,500		△ 6,520
新規·拡充	主な事業内容				•		,		,		<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		•	·	査	定額	,	説明		
	高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画の策定				16,400)	11,014							△ 11,014						
O 1	高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定								24,820		24,82	20 2	3,694	23,694		8,200	施設整備等事業者選	定支援業務委託等		
	高山駅西地区複合・多機能施設の整備													i		4.000		託		
	 	合があり	ります。												※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略	(※)する場合があります。		
3.令和!	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		,,,,	\downarrow	i	5.令和	6年度事	業実績	、評価等	(Chec	k) R	 7.8実施						, 0		
-	1 12 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1			▼	T :	3. 12 12	1,2,7		V #1 1- 12	, , , , , , ,	,			<u> </u>						
															+D 1/ =M					
古坐中体	・複合・多機能施設整備基本計画策定に向けた調査の実施					事業中 体						設置、開催(2回)	/+ \		担当課予算要求	・高山駅西地 必要な経費	也区複合・多機能施設 を計 b	の整備(運営予定者によ	くる設計・施	工支援)に
尹未天祺	・高山駅西地区まちづくり検討会議の設置・運営(計4回)・高山駅西地区複合・多機能施設整備計画の策定(R6.5)				H	争未天祺		心区後 ロ・3 の実施(2個		り建呂アル	日の公务	、選定(応募 2団	14-)	H	ボイント	2 2 0 11 2	C 11 -			
					Ηi															
					- 1 i									i						
					İ															
評価等	・高山駅西地区において新たに整備を行う、複合・多機能施設及び立 ・高半等にはなっておれて新たい。	【体駐耳	車場等の機能	能や規模、位置	置、	評価等				整備基本 計	画で定め	た事業手法(運営	者先行道	選定方式)に基づき、運	B1754					
	事業手法などを整理、とりまとめすることができた。 						·地質調査	の実施によ	り、建設予定	≟地として┪	├分な地盤	を有することを確認	認した。		財務部 査定の	•積算内容	と精査			
															考え方					
				維持·改善										□ 維持·改善						
次年度	호마파파바다드라니카는 시 소문사내의 스타버스드스 나 쓰다.	·		拡大 縮小		次年度		1.42.44.2-		+ D+ +	=n,=14+	- (DD) + /- > + ···	± 0 122	✓ 拡大│ 縮小		1+ W				
	・高山駅西地区における複合・多機能施設の整備等に向け、事業者 める。	選定を		^{陥小} 廃止検討		以降の 考え方			正者の助言	と踏まえて	、設計施工	E(DB)を行う事業	有の選	□ 縮小 □ □ 廃止検討 □ □	市長査定		と有食			
(担当課)				R5完了		(担当課)								□ R6完了	の考え方					
				R6完了予定										□ R7完了予定						

事業名	20980 高山駅西地区まちづくり推進事業費		✓ R6新規	□ R7新規		会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
学 未1		区分	□ R6拡充	□ R7拡充	圣 質	款	2	総務費	造山林	心口以来的 心口以来休
枝番·内容	1 高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定	区刀	□ その他重要事業		1/升	項	1	総務管理費	内線	2443
汉田•内谷	同山州凶地位後日・夕阪祀旭政策側に休る争未有迭た					目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

	1,100,100		
目的	「ふれあい×にぎわい×つながり ~市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる駅西エリア ~」をコンセブトとして高山駅西地区のまちづくりをすすめ、市全体の活力につなげる。	概要	・高山駅西地区における複合・多機能施設等の整備をすすめる。

[参考] R5	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
7 异创	補正等			
	最終			
決算	車額			

	⊒ 100	
予算額	繰越	
了并识	補正等	
	最終	
決算	草額	
対前年度増	減額(決算)	

	事業	実績、評価等	
[事業実績]			
[評価等]			
			維持・改善
次年度以降 の考え方			
(担当課)			廃止検討 R5完了
			R6完了予定

[参考] R6	当初予算(A	ction)	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			24,820
主な経費	·施設整備等事 ·事業者選定委		援業務委託(R6- 経費	7継続費)
対前年度増減	額(当初予算)			24,820

	事業内容、スケジュール
	7.X.110.X.7.2
[事業内容]	
公募用資料事業者の選	複合・多機能施設の整備・運営に係る事業者の選定 4の作成(募集要領、要求水準書など) 理定 体制の整備
	業務については、令和6~7年度 継続費 令和6年度 24,400千円 令和7年度 7,300千円
[スケジュール] ・R6.5~ 業務	委託の発注

	R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
	予算額	当初		24,820
		繰越		
		補正等		
		最終		24,820
	決算	草額		23,694
	対前年度増	減額(決算)		23,694

決算額		23,694									
対前年度増減額(決算)		23,694									
事業実績、評価等											
T 71.77.125.1 II IIM 13											
[事業実績]											
┃ ・高山駅西地区複合・多機能施設運営者選定委員会の設置、開催(2回)											
·高山駅西地区複合·多機能 体)	施設の運営予定者の)公募、選定(応募 2団									
i体) ・地質調査の実施(2個所)											
[評価等]											
Lat im 쿡]											
・高山駅西地区複合・多機能 者先行選定方式)に基づき											
・地質調査の実施により、建											
認した											
・今回選定し	た運営予定者の助	□ 維持·改善									
言を踏まえ	て、設計施工(DB)を	□ 拡大									
次年度以降	の選定をすすめる。	□ 縮小									
の考え方 (担当課)		□ 廃止検討									
(교리타)		□ 烷亚(ki)									
		□ R7完了予定									

R7当初予	算(Action)	(千円)
予算額	当初	8,200
主な経費	·施設整備等事業 ·事業者選定委員	業者選定支援業務委託(R6-7継続費) 員会に係る経費
対前年度増減	額(当初予算)	△ 16,620
V/ 3 +1 /- 9/4郎十	フォルハ田に☆	ナナハンナッド 言い針小殿 ハツトナフ 担 A キ ロ

・高山駅西地区複合・多機能施設の整備・運営に係る事業者の選定 ・公募用資料の作成(募集要領、要求水準書など)

主な経費	・施設整備等事業 ・事業者選定委員	業者選定支援業務委託(R6-7継続費) 員会に係る経費					
対前年度増減	額(当初予算)	△ 16,620					
入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり							
事業内容、スケジュール							

※事業者選定業務については、令和6~7年度 継続費 (年割額) 令和6年度 24,400千円

令和7年度 7,300千円

[スケジュール]

[事業内容]

・事業者の選定 審査に係る体制の整備

·R7.7 高山駅西地区複合·多機能施設整備事業者選定委員会の設置

·R7.9 設計·施工事業者の公募開始 ・R8.3~ 設計・施工事業者の選定

・R8.6 設計・施工事業者の決定

04_総合政策課.xlsx_8 20980-1

事業シ	·一ト(令和6年度決算)					04_総合』	女策課.xlsx_9									
		会計	1 一般会計			重点戦	方向性				根拠計画					
事業名	25100 統計調査事業費 予算		2 総務費		総合計画	ポイント			IX JEH I							
担当課	総合政策部 総合政策課 内線 2434	項 目	5 統計調查費	5 統計調査費		分野別	政策分野 施策分野	着実な計画の 計画推進	り推進		市長公約					
	の目的・概要 (Plan)	н	· WILLIAM EX				10 K / J I					# 수타교	画等 主な指標	nc中结	R6実績	R6目標
一手来	の日的・佩安(Flan)											자그리브	当寺 土仏旧標	R5実績	R0天根	K0日1宗
目的	・統計的視点から市の現状を理解する。 ・統計問題を研究活動等様々な分野で活用する。 ・政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 ・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。						まするとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 ***はたいにはないまでいまった。									
			概要 ・各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。 ・国・県が実施主体となる各種統計調査を実施する。													
2 車業(の実施結果等(Do)		i						4.令和7年度予算編成(Action) (千円)							
2.77	00大旭和末午(00)		(千円) R5 R6 「					7. 月 17 一尺 子 編次 (Action)					350			
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算		決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算		決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求額	1	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員八計員ではく)		1	40	11-	10,07	7 9	924	8,578	8,464		350	350	350		△ 9,727
	国費()														
特定財源	県費 (統計調査員確保対策事業費 等)		27	2	7 9,96	4 9	811	8,501	8,474	1	237	237	237		△ 9,727
	その他()														
一般則	一般財源		1	13	8	7 11	3	113	77	Δ 10	1	113	113	113		0
新規·拡充	主な事業内容										査定額	1	1	説明		
	事務費		1	40	11-	1 1 4	0	140	104	△ 10		140				
	経済センサス(毎年)					1	0	10	0			180				
	国勢調査(R7調査実施(5年に1度))					8	0	80	25	25						
	農林業センサス(R6調査実施(5年に1度))					8,81	0 8	657	7,477	7,477		30				
	全国家計構造調査(R6調査実施(5年に1度))					1,03	7 1	037	972	972						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があ	5ります。									※入札に影響す	るため公開に	適さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.令和	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		5.令	和6年度	事業実績、評価	等(Check)	R7.8実施	<u>i</u>	<u> </u>							
事業実績	・統計調査員研修会の開催(20名) ・「高山市のあらまし」の印刷・発行(100部)、市ホームページでの公表		事業	実績・「高山市	・統計調査員研修会の開催(20名) 責・「高山市のあらまし」の印刷・発行(80部)、市ホームページでの公表 ・経済センサス、農林業センサス及び全国家計構造調査の実施、国勢調査(R7)の準備											
評価等	・各種啓発により統計調査員を確保することができた。		: : 評価 !		きにより統計調査員を4 国(県)の各種統計を9		-0			財務部査定の・要考え方	要求どおり					
以降の 考え方	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした実施する。 ・「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやるよう工夫する。	研修を コ すくす	維持·改善拡大 拡大 縮小 廃止検討 R3完了 R4完了予定	以陷	峰の 実施する	のあらまし」を引き続き				✓ 維持·改善拡大縮小廃止検討R6完了R7完了予定	・段・の考え方	才務部査定(のとおり			